

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 元年 6月 28日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所	愛知県碧南市山神町2丁目72番地
氏 名	石橋建設興業株式会社
	代表取締役 石橋嘉彦
	(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	0566-42-8181
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	石橋建設興業株式会社
事 業 場 の 所 在 地	愛知県碧南市山神町2丁目72番地
計 画 期 間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	建設業(06:総合工事業)
② 事 業 の 規 模	元請完成工事高:19億1491万円
③ 従 業 員 数	95人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類:再生処理業者に委託又は、自社産業廃棄物処理工場(中間処理)にて骨材・路盤材として再生資源化 木くず :再生処理業者に委託してチップとして再資源化 紙くず :再生処理業者に委託して、再生紙として再資源化 混合物 :再生処理業者に分別を委託して分別後、再資源化及び埋め立て処分 その他廃棄物も再生処理業者に委託し再資源化、再資源化できない廃棄物は埋め立て処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
本社 総務部(廃棄物処理総括責任者)
↓
土木部・舗装部・工事部・資材運輸部・開発部・建築部(産業廃棄物管理担当部長)
↓
工事現場管理責任者(産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現場において発生ごみを分別して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1637 t	t
	(これまでに実施した取組) ・すべて再生利用し再資源化する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(平成30年度)実績】										
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	鉱さい	混合	合計
排出量	2,029 t	24 t	21 t	1 t	12 t	1 t	32 t	365 t	55 t	2,540 t
①現状 (これまでに実施した取組) - がれき類、鉱さい 施工の各段階において検討を行い調整し発生量の削減に取り組む - ガラス陶磁器くず、廃プラスチック類、鉄くず、紙くず、木くず、混合 分別化の徹底、包装材の簡素化 - 建設汚泥 現場内で出来る範囲で水分を抜いてから搬出する。										
【目標】										
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	鉱さい	混合	合計
排出量	1,000 t	20 t	20 t	0 t	10 t	1 t	20 t	0 t	50 t	1,121 t
②計画 (今後実施する予定の取組) - がれき類 施工の各段階において検討を行い調整し発生量の削減に取り組む - ガラス陶磁器くず、廃プラスチック類、鉄くず、紙くず、木くず、混合 現場への資材搬入は、パレット・コンテナ等により搬入し、梱包状態を避ける。 - 建設汚泥 現場内で出来る範囲で水分を抜いてから搬出する。										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(平成30年度)実績】										
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	鉱さい	混合	合計
全 処 理 委 託 量	392 t	24 t	21 t	1 t	12 t	1 t	32 t	365 t	55 t	903 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	392 t	24 t	21 t	1 t	12 t	1 t	32 t	365 t	55 t	903 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)										
・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。										
【目標】										
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	鉱さい	混合	合計
全 処 理 委 託 量	0 t	20 t	20 t	0 t	10 t	1 t	20 t	0 t	50 t	121 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	20 t	20 t	0 t	10 t	1 t	20 t	0 t	50 t	121 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)										
・処理業者を選定する場合は、優良認定処理業者を優先する。										
・定期的に委託先処理業者の処理状況を実地確認を行う。										